

赤塚中学校だより 「赤中プライド」

平成29年3月2日

HPアクセス数 169959

「時間を守る」「話をきちんと聴く」「清掃にしっかりと取り組む」

No.43

市内の中学生が「チーム魁」として、偕楽園での観光ボランティア活動を行いました。



26日(日)のチーム魁のメンバーの皆さん

春を感じるような青空となった26日(日)に、赤塚中、笠原中、緑岡中、内原中の4校の40名が「チーム魁」として、第121回水戸の梅まつりの中学生ボランティアとして活動しました。

18日(土)、19日(日)、25日(土)の3日間は他の市内の中学校が担当し、この日が中学生ボランティア活動の最終日でした。中学生ボランティアは、主にパンフレットの配布、あいさつ、案内などの活動を行い、水戸を訪れた観光客へのおもてなしを担いました。

赤塚中学校からは、2年生5名(滝澤隼平さん、内藤友紀さん、遠藤愛香さん、浅川美紗希さん、仁平あやのさん)と1年生5名(小坏雄大さん、山崎滉平さん、高木まどかさん、高須萌愛さん、成田星来さん)の計10名が参加しました。偕楽園駅前、好文亭、売店で活動しました。

これらの取組によって、水戸を訪れた人たちは中学生の素晴らしさや水戸の町の良さを感じたことと思います。本当にありがとうございました。



「エイ、エイ、オー」の掛け声



JR常磐線の偕楽園駅は、梅まつりの期間に下り列車だけが乗降できる駅です。この日はたくさんの方が降りてきました。



好文亭には長蛇の列ができました。



売店には、水戸の名品ばかりでなく、たくさんの土産物が置いてありました。行き交う人に、声をかけては、水戸のことをPRすることができたようです。

